



松高小HP

八代市立松高小学校  
学校便り 第8号  
令和8年9月30日発行  
文責 村山

## 2学期も1ヶ月が過ぎました

熊本地震後に始まった2学期も1ヶ月が過ぎました。

住居の倒壊や水の問題など、大変な思いで過ごしているご家庭もあるかと思いますが、皆様のご協力で、ほぼ通常通りの学校生活を過ごすことができました。大人にとっても不安な日々が続きましたが、学校で元気に過ごす子供たちの笑顔に私たち教職員も救われております。

給食につきましては、地震での給食センターの被害により、「応急給食」の対応となり、保護者の皆様にはご心配をおかけしました。保護者の皆様にもご理解をいただきながら、通常給食に戻ることができました。感謝申し上げます。

地震など被害があった後少し期間が空いてから体調に変化が出てくる場合があります。お子様のことでご心配なことがありましたら、担任までご相談ください。

さて、9月18日の朝活動の時間に、「地震対応指導」を行いました。地震で怖い思いをした子供たちへ配慮し、日頃行っているような避難訓練ではなく、今後も起きると想定される地震が起きた際の「初期対応（揺れへの備え）」の仕方の練習を各学級で行いました。

基本の約束「お・は・し・も・ち」

|   |         |
|---|---------|
| お | ：おさない   |
| は | ：はしらない  |
| し | ：しゃべらない |
| も | ：もどらない  |
| ち | ：ちかづかない |



を確認しました。

日奈久断層がいつか活動することが予想されるため、今後も命を守るための学習を行います。ご家庭でも地震等の対応について、話し合いをされているかと思いますが、折に触れ、お話しただくと幸いです。



## 一人ひとりに合わせた学びと支え合い

朝の時間に、特別支援教育および「まつのみ教室」（特別支援学級）についての理解を深める活動を行いました。内容としては、本校の特別支援教育コーディネーターが次のような話をしました。

視力を補うためにメガネをかけることが日常的であるように、学びや生活のしやすさも一人一人異なります。集中して学ぶために静かな環境が必要な子供や、手助けがあれば個性を伸ばせる子供など、子供たちの特性は多様です。

特別支援教育は、そうした「違い」に配慮し、誰もが安心して自分の力を発揮できるように適切な学習環境や学び方を提供する取り組みです。

学校では、お互いの違いを認め合い、困っている時は自然と手を差し伸べ合える温かい学級づくりを目指していきましょう。

保護者の皆様にも特別支援教育の役割への理解を深く持ち、子供たちが「思いやり」の心を育めるよう、温かく見守っていただくと幸いです。今後も、全員が自分らしく輝ける学校を目指し、取り組んでまいります。（下記は当日の資料から）

得意なことも  
苦手なことも  
ちがいますよね。



一人一人に合わせた勉強をしているところがあります。

一人一人が  
大切な存在です。

だれかが困っているとき  
思いやりの心で  
声をかけ合えたら・・・

## 八代市「くまなびの日」について

お子様と保護者の方が、体験活動などを行う際に、年3日間欠席ではなく、出席停止として利用できる制度です。（R7から）

ご利用されるご家庭は、2週間前までに学校へ取得届をご提出ください。（届は、学校HPもしくは、学校にあります。）

詳しくは本校HPをご覧ください。子供たちの有意義な体験を願っております。